

古墳時代のロマンを感じるとき ～第8回 竜丘古墳まつり～



梅雨の晴れ間、天候に恵まれ第8回竜丘古墳まつりが六月七日(日)に盛大に開催されました。今年は「トンボ玉づくり」「柴茶」のコーナーを新設、一層の充実が図られ、楽しく古墳・古代の生活に触れることができました。

らはもつと古墳等の勉強をした。と丘のみちしるべ探索の感想発表がありました。続いては鈴岡太鼓の演奏では、古墳の会の小林さんから、古墳時代にも現在のものと形は違うものの、太鼓があったという話がありました。

また、装飾品の勾玉、トンボ玉、埴輪、火起こし、古代食などの古代の生活を体験できるコーナーの紹介がありました。今年新たに企画されたのは、トンボ玉作り・柴茶のコーナーです。トンボ玉作りではバーナーの火が揺れて安定しない中で飴状になったガラスに苦戦していました。柴茶コーナーでは古墳の頂上にあるお茶の木から新芽を摘み、フライパンで熱を加え、ほぐしを繰り返して新茶にしました。

飲んでもと意外と苦みの強い味でした。勾玉作りでは子供たちが真っ白な粉まみれになりながら、曲面をきれいに磨いていました。古代食コーナーでは一口サイズの古代米のおにぎりが配られ、おいしかったという感想が聞かれました。古代の釜である甑(こしき)に

鉄球に思いをこめて！

五月二十四日、五月晴れとはいかないまでも薄曇りの過ごしやすい天候のもと、竜丘小学校のグラウンドで夏季スポーツ大会が開催され、各地区から選出された五十チーム、約百五十名によるペタンクの熱戦が繰り広げられました。

夏季スポーツ大会の競技としては七回目となる今年大会。参加者は地域でチームを持ち毎回出場しているベテランから、今回初めて体験する初心者まで。また年齢も高齢者から小学生までとさまざまな構成のチームでの戦いとなりました。投球する姿は誰も真剣で、各コートでは白熱の試合展開に大きな歓声が沸き



竜丘には誇れるモノ「古墳」があります。国道一五一号サンヒルズ入り口から見える塚原二子塚古墳は年々整備されてきています。

六月七日梅雨の晴れ間に古墳まつりが行われました。会場に張られた横断幕は黄色、のぼり旗は深緑色に一新され、一層華やかになりました。

小学校六年生が作った埴輪の野焼きが早朝より始まり、火起こしによる点火に挑戦しましたが、難しかったようです。開会式では、六年生の下平遼君から「竜丘にはこんなたくさん古墳がある事を知らなかった。これか



地域の達人が子どもを育てる
竜丘小学校クラブ発表会

七月十七日(金)竜丘小学校クラブ発表会が行われました。クラブ活動は、四、五、六年生が十七のクラブのいずれかに所属し、五月から取り組んでいたもので、当日は五つのクラブの発表

球の数で勝敗を決めるスポーツです。投球技術もさることながら、相手チームの球を弾き飛ばしたり、自チームの球を弾いて近づけたりの駆け引き、球の弾かれ方によっては大どんでん返しが起こるなど『運』が勝敗の決め手になることもあり、年齢や性別、経験を問わず誰もが一緒に楽しむことができるスポーツです。地域で「ペタンク」と聞く機会があったら是非、参加してみよう。



がありまして。琴クラブは、美しい音色でものをけ姫のテーマなどを演奏しました。竹細工クラブは、十四人が自分で作った竹トンボを飛ばしました。高く飛び、驚きの声が上がったり、低空飛行で笑いを誘うものなど様々でした。手話クラブは、あいさつのほか、クイズを披露しました。手話での「犬」は、実は猫と間違いないことなど、習っていないとわからないことが多くありました。おしなごクラブは、桃太郎などの童謡にのせて練習の成果を披露しました。最後は工作クラブの発表で、三角コブターと飛行機を全員一斉に飛ばしました。どれもよく飛んで、大きな歓声が上がりました。その他、展示発表を行っているクラブ(絵手紙、折り紙、書道、切り絵、手芸、陶芸、木工)から展示内容の発表がありました。

どのクラブ活動も、地域の方々が「達人」として子どもたちに指導していただきました。見学した達人の方々も子どもたちの成長ぶりを喜んでおられ、まさに「地域が子どもを育てる」ことを実感する発表会でした。

竜丘地区公演プログラム

会場名	公演日	開演	劇団	時間
竜丘公民館 大ホール	8月6日	10:00	えぷろん座	20
			人形げきや おたご組	30
		13:30	かんこちゃんとかーと君(人形劇団どむならん)	15
時又公民館(八王子公民館)	8月6日	19:00	城南小 4年3部人形げきだん	30
竜丘公民館 大ホール	8月6日	19:00	ましゅ&kei With あさぬまちずこ	45
		10:00	人形劇団 おまけのおまけ	40
		13:15	人形芝居 めい遊	30
竜丘公民館 サークル室	8月7日	15:30	文楽米人形座	20
		11:15	マリオネット どんぐり	15
			グループ ケロちゃん	20
竜丘公民館 和室大	8月7日	14:15	「すー」のテーブルシアター	15
			人形劇団 なみ	25
		11:15	人形劇団 やっほ～	50
長野原区民センター	8月8日	10:00	人形劇 プチぶどう	30
竜丘公民館(桐林分館)	8月8日	10:00	ヨシダ人形劇	55
駄科区民センター	8月8日	13:00	人形劇団 クラルテ	50
上川路公民館	8月9日	10:30	人形劇団 とんと	60
		13:00	ジャンルーカ・ディ・マッテオ	50

野党が反対する中、安部法案をめぐる、国会は九月二十七日まで延長された。このような騒ぎの中、選挙権を得られる年齢が十八歳以上に引き上げられる改正公職選挙法が可決・成立している。国民の政治に対する無関心が叫ばれる中、若い世代を政治に参加させることが目的とされている。実際に平成二十六年年度の衆議院選挙の投票率を年代別に見ると、六十代は六十八%と一番高く、七十代を除くと年齢が下がるにつれ投票率が低下し、二十代は三十三%と一番低い。

世界的に見ると選挙権年齢のデータのある百九十二か国で、十八歳までに選挙権が認められているのは百七十六か国、九十二%である。主要八か国でも日本を除く七か国すべてが十八歳選挙権である。オーストラリアなどは十六歳からとなっており、十八歳選挙権は非常識ではない。

しかし、社会的にも未成年者には選挙権を与えることについて問題を指摘する声もあり、中学・高校での教育の必要性も指摘されている。

政治とはいろいろな利害を持つ人たちがお互いの幸せを考えながら折り合いをつけていく仕組みである。それらを学習していく場は学校だけではない。身近なところでは近所付き合いもひとつの政治の場であろう。そう考えると公民館活動などはひとつの政治の学習の場である。若い世代が公民館活動へ取り組めるような仕組みを考えていくことが、政治への参加の場となり、学習する機会を得ることになるであろう。若者を取り込んだ公民館活動の必要性を感じる。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,946人
男子 3,371人
女子 3,575人
世帯数 2,507戸
(27年6月末現在)

よる炊飯も行われました。埴輪作りコーナーでは半分の大きさの埴輪を、親子で細かな模様をあしらいながら器用に製作していました。後半には古墳巡りクイズラリーが行われ、参加した五十余名の子供たちが竜丘古墳の会小林会長の説明を聞き、答えを熱心に考えていました。何よりも子供たちに思い出となる古墳まつりであり続け、後世へ受け継いでいきたいものです。

消防団竜丘分団飯田市代表として大健闘！

～平成27年度 飯伊消防技術大会
桐林班準優勝・長野原班第8位～



七月十二日(日)に、桐林運動場において、今年度の飯伊消防技術大会が開催されました。
第七分団(竜丘分団)は、六月に開催された飯田市大会で、桐林班がポンプ車操法の部で見事に優勝、小型ポンプ操法の部では長野原班が三位となり、両チームが飯田市の代表として飯伊大会に出場しました。
当日は梅雨の合間の猛暑の中、飯田下伊那の強豪に混じり、桐林と長野原の両チームも他のチームに負けず劣らず、日頃の練習の成果をいかんなく発揮しました。
その結果、桐林班がポンプ車操法の部で準優勝、長野原班は小型ポンプ操法の部で八位と健闘し、両班とも竜丘分団が始まって以来、一番の好成績を収めることができました。

仲間の絆を力に変え

第七分団 分団長 林 拓也

激戦の飯田市大会を勝ち上がり、今年度の飯伊消防技術大会へ、ポンプ車操法の部に桐林班が、小型ポンプ操法の部に長野原班が出場しました。
出場にあたっては、地域自治会をはじめ、関係団体の皆様、消防団OBの方々、そして地域住民の皆様方のご理解、ご協力を賜り、改めてお礼申し上げます。今大会

には、桐林班は二年連続の出場、長野原班は数年ぶりの出場ということで、両チームとも上位、さらには県大会を狙う分団として注目を浴び、第七分団全体が緊張しながらも盛り上がり、大会に臨むことができました。
結果は、桐林班が準優勝、長野原班が八位という、過去にない好成績を収めることができました。非常に暑

い日でしたが、選手達はそのれ以上に熱い操法を全力でやりきってくれました。長い練習期間を支えてくれた家族や職場の皆様への感謝を忘れず、ひたむきに、ひたすらに練習に打ち込んできた彼らの姿を思い出し、うれしさとともに目頭が熱くなりました。
仲間の絆を力に変え、全力で戦った彼らを分団長として誇りに思います。繰り返になりますが、このような好成績を収められたのは、支えていただいたすべての皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

今後も、消防団活動の本分である予防消防を中心に、さらなる操法技術の向上を図り、より好成績を収めることができるよう、団員一丸となつて取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

い日でしたが、選手達はそのれ以上に熱い操法を全力でやりきってくれました。長い練習期間を支えてくれた家族や職場の皆様への感謝を忘れず、ひたむきに、ひたすらに練習に打ち込んできた彼らの姿を思い出し、うれしさとともに目頭が熱くなりました。
仲間の絆を力に変え、全力で戦った彼らを分団長として誇りに思います。繰り返しますが、このような好成績を収められたのは、支えていただいたすべての皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



ポンプ車操法の部 準優勝 桐林班



小型ポンプ操法の部 第8位 長野原班

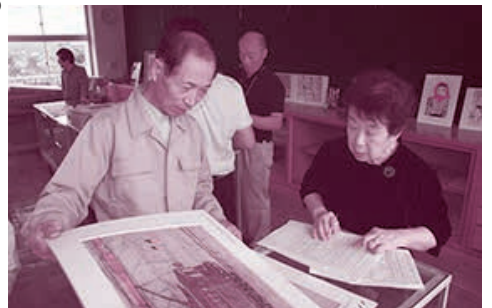
「自由な学び」を後世に

～竜丘児童自由画の保存作業始まる～

長年の懸案事項であった、大正期の竜丘地域の児童が描いた「自由画」を後世に継承するための保存作業が本格的に始まりました。
六月十九日に竜丘児童自由画保存顕彰委員会の方々が保存作業を行いました。はじめに市美術博物館横村専門主査から保存の工程について説明があり、今回は、約三百点以上ある児童画のうち、百四十三点の採寸と分類、それに和紙の挟み込みまでを行いました。
まずは展示のため額縁に入っている原画を丁寧に取り出しました。取り出した原画は時代の経過とともに紙が劣化をしているものの、その画の持つ「力」は衰えることなく、どの作品も当時の子どもの自由な思いが感じられる素晴らしいものです。関係者の中には今回初めて原画を見る方もおり、「今の同世代の子どもの画より上手なものが多い」「素朴だ

が力がある」といった声がかれました。また、「この画は多分風越山だ」「方角的に学校ではなく、上川路の辺りで描いたのではないか」と、当時の様子を推察しながら作業が進められました。
額縁から取り出した原画はサイズを一枚ずつ測り、台帳に記録、そして一枚ごとに和紙を挟み込み、保存箱に十五枚ずつ収納しました。なお、挟み込んだ和紙は下久堅産の「ひさかた和紙」を使用しました。
今後は残りの作品について同様に作業を行い、今年度内には保存作業を完了する予定です。

竜丘小学校の土蔵に埋もれていた自由画を発見し、現在保存顕彰委員として保存に携わる北原更一さんは「原画にはその当時の様子、子どもの思いがすべて詰まっております。子どもの息づきを感じられる」と思いを話してくれました。
これらの作品は大正後期に興った自由画運動に関する第一級の資料であるとともに、当時の竜丘の「自由な学び」を今に伝える大変貴重な「地域の財産」です。今後は保存するだけでなく、地域のみなさんが作品に触れ、学ぶことで、この「地域の財産」を大事に、後世につないでいくことが望まれます。



HELLO! 国際交流の会

私達国際交流の会

は英語や英会話を学びながら外国の歴史・文化・習慣・時事などを学ぶ事を目的とした活動を行っています。
海外の方を講師に招いて毎月第一・三火曜日の二回夜七時から八時半まで有意義な活動を行っています。

また学習会のみにとらわれず親睦会の開催や、海外の料理を学ぶ料理教室の開催など、会員同士の発案の中から多岐多様な活動を模索しながら進めて行く様にしております。

海外の多くの事を学ぶと共に英語力や英会話を身につけていく様にしております。

参加希望は竜丘自治振興センターまでお気軽にどうぞ。

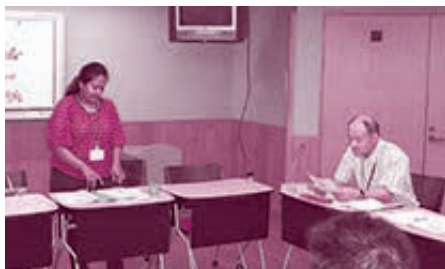
話力を付ける事が出来るチョットおもしろいサークルです。

過去に英会話教室へ通ったがどうも...という方や、英語に興味がある方、一度遊びに来て見ませんか？活動時間中はすべて英語ですが、心配なさらないで下さい、どんなに有能な人でも最初は何も解らなかつたのですから！

今後の大きな活動として国際協力機構(JICA)の海外からの研修者との交流会などのお手伝いを予定しています。

現在はインストラクターの女性講師を含め十名のサークルです。

海外の多くの事を学ぶと共に英語力や英会話を身につけていく様にしております。



あなたも世界デビュー？

身近に国際交流しませんか？

～公民館サークルメンバー募集中～

好友会(日本語教室)の取り組みと講師募集

好友会の発足は十六年前の平成十一年でした。

飯田から中国に戻った残留孤児Sさんの一通の手紙がきっかけでした。「竜丘では、年に一度国際交流会を行っているが、そ



れは何の意味もない。そんなことより、日本の社会に溶け込めるよう、中国帰国者の為の日本語教室を開いてほしい」と言うものでした。竜丘公民館では手を尽くし準備を進め、漸く開講しました。スタート時は講師陣も暗中模索でした。私たちの教室の狙いを次のように設定しました。

○簡単な職場の会話。自動車免許取得のための実用的日本語の習得。

今では中国帰国者以外の人たちも参加されています。国際結婚、企業研

【講師・支援者の募集】
こうした状況の中で、竜丘公民館ではボランティア講師・支援者を募集しています。毎週でなくても構いません、また経験も必要ありません。是非皆様のご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせは竜丘公民館まで。



竜丘地域の皆さん「太陽光と緑」がつながりますか？
四月に、竜丘自治振興センターの屋根に「太陽光発電装置」が設置されました。この設置事業は、設置費用が四百九十万円ほどかかり、

売電による利益を今後二十一年間で約百九十万円と見積もっています。そして、その利益の一部を「ガーデニング・景観整備として活用しよう」という発想で、昨年度から取り組み始めています。

具体的には、「竜丘地区の学びの丘づくり」として、竜丘小学校北隣の遊休農地約五アールを昨年からお借りして、ガーデニングや野菜作り等、心のふれあい事業の一部として始めたところですよ。
植物を育てることは、人の心も穏やかになるものですね。大人とい

わす保育園、小中学生も仲間を誘って参加していただき、事業に親しんでいただきたいと願っています。
また、この事業は植物を育てるだけでなく、例えば、完熟堆肥等を置くことで、畑の片隅でカブトムシが育つなど、子どもから大人まで喜べる事業になることを期待しています。面白そうな発想をお寄せください。事業への参加・ガーデニングを通じて地域の人を知り、仲間づくりをすることで、すばらしい竜丘のイメージを育てましょう。

参加希望は竜丘自治振興センターまでお気軽にどうぞ。